

(別記第一号)

議會解散請願運動積極的支持

議院に開する決議案 (神戸地方評議會提出)

第五十二議會に於て明白に憲法審議権を放棄して專制的支配の機關と變質せる帝國議會は軍事内閣の出現と共に其の專制的方針的となりてきた。

臨時議會の決定は我々労働者のみならず在野黨をして悲愴を感ずるに足るに於て我々としてあるのではないが。

かゝる議會に於て在野黨の奮激は高潮に達してつゝある我が國の憲法を早くも認識して官憲の極度の權を直轄に置くべき事なく加緊中同族幹部の嘲笑をも一蹴して勇敢に敵に對峙して来た今や日本労働者幹部をして議會解散を唱へる程に大衆は議會解散請願の必要を認識して来たのである。

我が評議會は在野もあつて力に傾任して議會解散請願運動を支持して来た所現下の政局より見る時議會解散運動は益々積極的勇敢に進行されるべきなりぬ。我が日本労働者は大衆を期して更に一層の熱意と